

保育・教育の価値とリスク 感染症流行と、変わる社会のもとで

ここまで、未就学児施設における保育・教育に内在する価値、そして、リスクについて書いてきました。さて、100歩ほど下がって遠目に見てみませんか？ 保育という仕組み、そのものの価値とリスクです。

未就学児施設という存在は、家庭における子育てと共にあるものです。幼稚園も義務ではありませんから（学校教育も、日本は「義務」ではない）、保護者の選択のもと、保育園も幼稚園も行かずに、小学校へ入学する子どもも当然います。

いや、そちら側の話ではなく…。一日11時間もそれ以上も、そして毎日、園で生活しているということは、そのぶんの時間、家族と過ごしていないということです。東京で聞いていると、ゼロ歳児でも延長保育時間（夜8時まで、ある

子育てを支えるはずが…？

—「保育」そのものの価値とリスク

8

掛札逸美

KAKEFUDA Itsumi

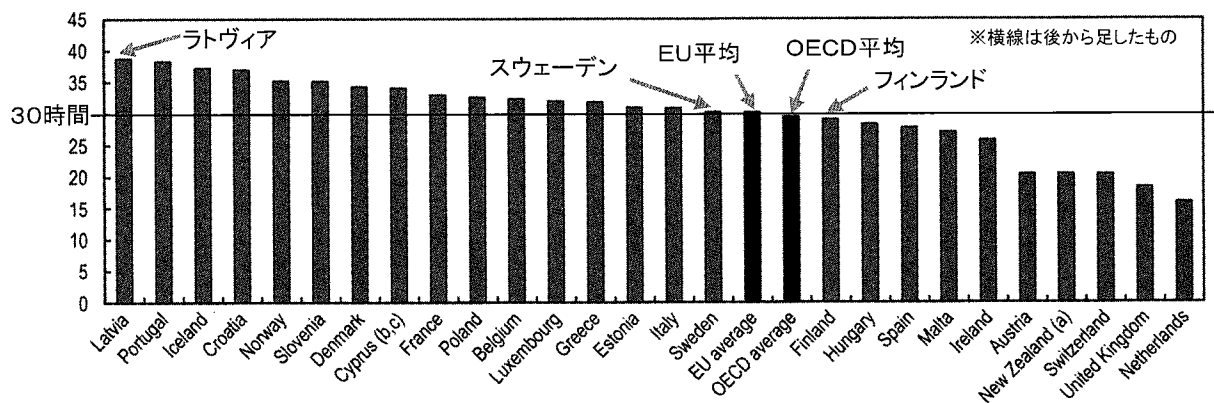
心理学博士

保育の安全研究・教育センター

心理学博士（健康／社会心理学。専門は安全とコミュニケーションの心理学）。1964年生まれ。筑波大学卒。健康診断団体広報室に10年以上勤務後、2003年、コロラド州立大学大学院に留学、2008年、博士号取得。産業技術総合研究所特別研究員を経て、2013年、NPO 法人保育の安全研究・教育センター設立（2020年に任意団体化）。厚生労働省「平成27年度 教育・保育施設等の事故防止のためのガイドライン等に関する調査研究事業検討委員会」委員の他、死亡事故の検証委員等も務める。

いはそれより遅い時間）いっぱい預けられている子どもはいます。ようやく起きたぐらいの状態に登園して、ほぼ眠ったような状態で帰る子どもたち。

まず、大前提として書いておきます。私は保護者を責めているわけではありません。園を責めているわけでも、もちろんありません。そこまで子どもを長時間、預けなければならぬ（おとなの）働き方システムでいいのか？（認可保育園に入園できたら）保育料はほぼ定額または無償なのだから、使えるだけ使わないと損というシステムでいいのか？ 「いいのか？ 子どもにとって日本未来にとって」と言っているのです。そして、「そういうシステムなのだから、園としてはしかたがない」でいいのか？ と言っているのです。



データは2016年までのもの。OECD Family Databaseから。
https://www.oecd.org/els/soc/PF3_2_Enrolment_childcare_preschool.pdf

図1 0～2歳の週あたり施設利用時間（OECDとEU各国）

表1 保育士が「適切」と考える保育時間

		1日に…	1週間に…	週合計で…
0歳児	平均値	3.7時間	2.9日	14.9時間
	最小値	0	0	0
	最大値	10	6	50
1歳児	平均値	5.8時間	4.2日	26.0時間
	最小値	0	0	0
	最大値	10	5	50
3歳児以上	平均値	7.3時間	4.9日	36.0時間
	最小値	0	0	0
	最大値	12	6	60

OECD、EUの保育所利用時間は
平均週30時間

図1は、OECD（経済協力開発機構）とEU（欧州連合）各国の保育利用時間（週の平均）です。^{*1} 開所時間ではなく、利用時間。国として保育システムを持たない米国は載っていません。日本が載っていない理由は、どうにも見つけられませんでした。

単純計算して、短時間の8時間でも週5日で40時間、最も長いラトヴィアと並びます。標準時間の11時間なら、週5日で55時間。一方、こ

の図に出ている国の平均は週30時間です。5日間、預けたら1日6時間。そして、この図には載っていませんが、スウェーデンは1歳まで、フィンランドは9か月まで保育対象ではありません。フィンランドで乳幼児教育を専門としている大学教授に聞いたところ、同国では子どもが自分で歩けるようになる11か月ぐらいになったら入園させるのだそうです。

「今の保育時間は長すぎる」

埼玉県の保育園有志の先生方で作る「親心を育む会」^{*2} が2018年、日本保育学会第71回大会で発表した結果が表1です。2016年、埼玉県内にある公立47園の保育士（有資格者）に聞いたところ（有効回答数703人）、94.3%が「今、預けられている時間は、乳児の発達にとって長すぎる」と回答、幼児についても84.3%が「長すぎる」と答えました。

では、何時間が適切と考えるかと聞いた結果が表1です。1歳児で週26時間、3歳児以上で36時間でした。

だから？ 続きは次回。

*1 この図を含む資料（2019年9月29日）は、「3000万語の格差と関連情報」（検索）↓「関連情報」の黒丸4つめ。

*2 「親心を育む会」が保育学会で発表した資料等は、同会サイトに。 <https://www.oitagokoro-hug.jp/>